

新採用者研修「点滴・各種ドレーン管理」

令和8年度、新採用者を迎え教育計画に沿って研修が始まっています。教育委員が前年度から研修毎に検討を行い、ラダー毎に新年度の研修を企画・運営しています。（HP「看護局」の「卒後教育」参照）

急性期病院において、点滴・各種ドレーンを管理する看護の大切さを考え、苦痛を最小限にする観察・安全で患者が安心できる固定技術を学ぶことは、日々のケアに生かせる看護です。研修の様子を紹介しましょう。

目的：感染対策に留意し、安全にドレーン・チューブ類の管理が実践できる

研修講師：感染管理認定看護師



少人数で研修を行います。全員が受講できるよう実施は数回になります。講師との打合せを重ねた資料・研修活用計画・アンケートが準備された研修会場。受講生を待ちます。



講義とグループ検討
その後さらに3グループに分かれて実技演習をしました

演習1 G：PPEの着脱



蛍光塗料を塗って外してみました
上手にできたかな？



演習2 G：ドレーンの固定



このドレーンに合うテープはどれかな？

コネクタの消毒



菌を押し込まないようにゴシゴシ15秒
しっかり擦ってきれいになりました



挿入部は固定されているよ
ドレーンを動かしてみても…

演習3 G：CV消毒と固定

こっちだね 中心から…
剥がすのも難しい…



胃管の固定
「しっかり」でも
「違和感少なく」
「潰瘍にならないように」



アンケートより

- ・挿入部の観察もしっかりやっていきたい。静脈炎を事例で考えられて良かった。
- ・カテーテル等が入っている目的も考えて、関わっていきたい。
- ・感染対策を見直す機会になった。患者と自分を守るためにしっかり行っていきたい。